



ダンス公演

破

壊

の子ら

演出家・筒井潤と
ダンサー4人の野望

2018年

11月30日 | 金 | 19:30

12月 1日 | 土 | 15:30 / 19:30

12月 2日 | 日 | 15:00

京都芸術劇場 春秋座 特設客席

出演

倉田翠 (akakilike)

野田まどか

福岡まな実

松尾恵美



「〇〇の子」というのがある。代表的なものは「ええとこの子」。子に対するシニカルな表現であり、同時に親も標的にしている。一方「アホの子」は、親の存在を抜きにしても使える、差別する意図がある言い回しである。この2つに共通して言えるのは、許しのニュアンスが存在していることではないだろうか。「あれ、〇〇の子やからな」と言えば、軽蔑を目的とする発言であったとしても、その後「しゃあない」を接続できるようになっている。「〇〇の子やから、しゃあないわ」と。見落としてはならないのは「〇〇の子」と称される対象者への許しだけでなく、発言者自身へのあらかじめの許し、軽蔑的態度に対する批判を避けるためにもこの言い回しは機能している。難は親、あるいは要因となるものにあって、その子に当たる人物に言ってるんじゃないですよ、というわけだ。

昨今のコンテンポラリー・ダンスに関する議論において、個人で活動しているダンサーは「〇〇の子」のような扱いを受けているような気がしてならない。「コンテの子」。

1519年、女奴隷として差し出され、改宗させられて征服者側についてマリンチェは、その美貌と語学力をコンキスタドールのエルナン・コルテスに気に入られて彼の妾となり、二人の間には子を授かった。だからメキシコでは、スペイン人とインディオの混血であるメスティーンは「マリンチェの子(=破壊の子)」と呼ばれ、蔑まれてきた。しかし長い時間をかけてメスティーンは自身のアイデンティティについて思考を巡らせ、スペイン人としてもインディオとしてもルーツを持ち得ないゆえに自らの存在をポジティブに「マリンチェの子」と見做すようになり、マリンチェを未来の象徴と再解釈するに至った。

今作品は目新しさを目的とはしていない。ダンスの歴史に対して無神経な罪深い私の身体に、言葉の力を一切借りず、空間と重力の中の隙間にある、何故か好機と感じられる僅かな場所を探させながら創った動き。そしてそれに時間と呼吸、さらには遊戯も吹き込んで営みを見出したダンサーが、観る者に「しゃあない」と思わせるまでひたすら踊りを晒す。仕方が無さの先にある前向きな未来を獲得するために。

筒井 潤

破壊の子ら

ダンス公演 | 演出家・筒井潤とダンサー4人の野望

筒井 潤 演出家、劇作家。劇団dracomのリーダー。2007年京都芸術センター舞台芸術賞受賞。dracomとしてフェスティバル/トーキョー10やサウンド・ライブ・トーキョー2014等に参加。個人として過去にはDANCE BOX『滲むライフ』の演出や、山下残振付作品、マレビトの会、KIKIKIKIKIKI、維新派、akakilike、悪魔のしるし等に出演。ジャンルや様式を問わない活動を精力的に続けている。

明倫ワークショップ
公開稽古&WS参加者との
“うまくまとめない”意見交換会
10/19(金)16:00-17:45
講師：筒井潤
定員：10名 *無料・要事前申込み
会場・お申込み先：京都芸術センター
京都市中京区室町通錦葉下る山伏山町546-2
TEL 075-213-1000

公演日時
2018年 11月30日(金) 19:30
12月 1日(土) 15:30/19:30
12月 2日(日) 15:00
*各回開演30分前ロビー開場
*10分前より整理番号入場

会場
京都芸術劇場 春秋座 特設客席(京都造形芸術大学内)

チケット取扱い
京都芸術劇場チケットセンター(窓口販売・電話予約)
劇場オンラインチケットストア※要事前登録(無料)

チケットぴあ
JCDNダンスリザーブ
京都・滋賀各大学生協プレイガイド

入場料
一般3000円 友の会2500円 学生&ユース2000円
*整理番号付自由席 *当日は各+500円
*ユースは25歳以下 *学生・ユースは要証明書提示
*未就学児のご入場はご遠慮ください

チケット発売日
友の会先行発売 2018年9月25日(火) 一般発売 2018年9月26日(水)

TEL:075-791-8240(平日10時~17時)
パソコンから <http://www.k-pac.org/>
携帯電話から <http://www.k-pac.org/theatre/m/m>
<http://l.pia.jp> TEL 0570-02-9999 Pコード 489-779
<http://dance.jcdn.org/>

託児サービス(要事前予約)
12月1日(土)15:30の回 対象：生後6ヶ月以上7歳未満 料金：お子様1名につき1500円
申込み期間：11月24日(金)17時まで 予約・お問合せ：舞台芸術研究センター TEL:075-791-9437(平日10-17時)

主催・お問合せ先
京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター TEL:075-791-9437 <http://www.k-pac.org/>
※車椅子をご利用のお客様・足の不自由なお客様は、お電話にてお申込み・お問合せ下さい。TEL: 075-791-8240 京都芸術劇場チケットセンター

本作は京都造形芸術大学<舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点>2017年度 共同研究プロジェクト「ダンスの創造的行為をめぐって」(研究代表者 山田せつ子)として、様々な言葉と身体との対話を重ね、昨年12月の春秋座「ゆるやかに振動する思想と劇場〜筒井潤と4人のダンサーによる戯(ため)しごと」とする劇場実験を経て、作品制作したものです。

演出：筒井潤(dracom) 出演：倉田翠(akakilike)、野田まどか、福岡まな実、松尾恵美
企画：山田せつ子 舞台監督：大田和可(舞台芸術研究センター) 照明：藤原康弘 音響：甲田徹 衣裳：南野詩恵 制作：富田明日香、川原美保(舞台芸術研究センター)
主催：京都造形芸術大学舞台芸術研究センター
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会
京都芸術センター製作支援事業 design, photo: Takuya Matsumi



- JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
京都市バス5号系統「岩倉」行き乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)
- 京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から
京都市バス204号系統銀閣寺行に乗車(約15分)、
「上終町・京都造形芸大前」下車
- 京阪電車出町柳駅から
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクのご来場はお断りします。
※所要時間はあくまで目安です。交通事情により大きく変動します。